

研究テーマ

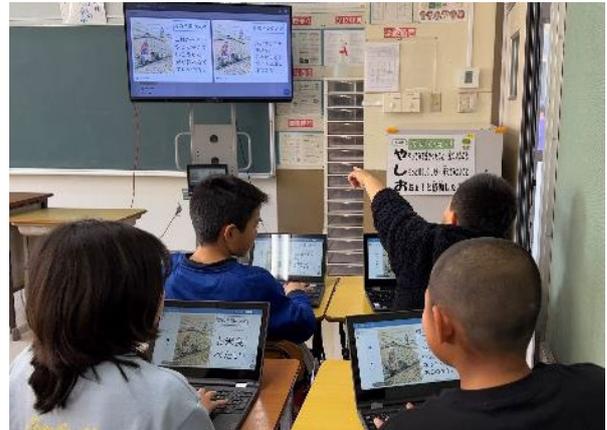
地域教材の効果的な活用を通して、郷土に対する誇りと愛情をもち
児童が主体的に学習に取り組む中学年の歴史学習の工夫
～第4学年 「先人の働き」～葛西用水の開発～

【提案】

埼玉県は利根川や荒川など多くの河川や水路が広がり、県土に占める河川面積割合は全国一位である。河川と水田をつなぐ農業用水は埼玉県の農業振興を支えてきた歴史的財産である。本実践は、それらを踏まえて埼玉県東部低地の葛西用水の教材化を通して、開削や整備に携わった先人の働きと地域の発展を当時の課題を踏まえて考えさせようとするものである。本実践を通し、本校の児童にとって身近な存在である葛西用水を歴史学習において教材化とすることで、より一層の興味関心をもって関係する人物像を捉え、郷土に対する誇りと愛情をもてるよう本実践を提案する。



【用水開発工事の擬似体験】



【ICTを活用して思考を深める】

1 実践のポイント

(1) 事前学習を含めた見学調査・体験的な活動を取り入れ主体的な学習と資料の読み取り

本実践では、児童が主体的に学習に取り組むことができるようにするため、見学調査活動や体験的な活動を取り入れることにした。今でも受け継がれている地域教材を活用するには、体験的な学習が有効である。本校は学校に隣接して葛西用水が流れていることから、児童にとって身近であり容易に見学ができる。また、手作業での用水開発擬似体験を取り入れ、当時の苦労や工夫を共感できるようにした。体験的な学習は学習意欲を高めることにもつながる。資料の読み取りに際しては、地点を詳しく見る見方（**点**としての見方）、見学した地点と地点を「用水」を通して見る見方（**線**としての見方）、上流から下流という広い範囲での見方（流域という**面**的な見方）という三段階で見ていく手法を捉えさせていく。さらに、年表と年代別地図を関連付けて歴史的な変化を捉えていく見方（**変化**の見方）までを育てようと考えた。

(2) ICTを活用した授業構成により対話を促し深い学びへとつなげる

歴史学習においては、より分かりやすい資料の収集・整備が求められる。伊奈氏の人物像や功績についてICTを活用して視覚的に理解できるようにする。またインターネット地図である「Google Earth」「Google ストリートビュー」は、実際に行けない場所をイメージさせる、地図に位置付ける、鳥瞰図として位置をつかむことができる。さらに、国土地理院「地理院地図」の年代別の空中写真を用いた新旧比較、土地利用の変化、護岸工事の前後の変化、水田から住宅地への変化などに気付かせることで話し合い活動を充実させることができる。見学調査・体験的な活動をした上で、ICTを活用して理解を深めることにより、より深い学びが期待できる。その結果、地域社会の一員としての自覚を養うことを期待した。

2 実践の位置付け

(1) 小学校学習指導要領との関連

<p>内容(4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア(7) 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。</p> <p>(イ) 地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。</p> <p>(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。</p> <p>イ(7) 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現すること。</p> <p>(イ) 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現すること。</p>

本実践は、内容(4)の「県内の伝統や文化、先人の働き」のうち、内容の取扱いで示された「地域の発展に尽くした先人」について、江戸時代に伊奈氏が開発に携わった葛西用水路を事例として取り上げる。葛西用水は埼玉県東部及び東京都東北部にまたがる一大用水路で、羽生市本川俣の元塚樋管（現在は利根大堰）から越谷市西方の瓦曾根堰を経て東京都に至り、その関係する都市町村は埼玉県行田市、羽生市、加須市、久喜市、幸手市、杉戸町、春日部市、松伏町、越谷市、吉川市、草加市、三郷市、八潮市、東京都足立区、葛飾区に及んでいる。

(2) 実践のポイントの学習評価との関連

・主体的に学習に取り組む態度の評価について

本実践では、児童が学習問題をつくる際に予想を立てたり、解決までの見通しをもったりする場面で「主体的に問題解決しようとする態度」の評価を行う。学習問題をつくる場面において、児童の話し合いの様子やノートの記述から見取ることができると考える。

・よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度について

本実践では、学習問題を解決する過程で得たことを根拠に、より良い社会の実現に向けて考えようとする態度を評価したい。本実践の内容「県内の伝統や文化、先人の働き」は、学習指導要領の「内容の取扱い」において「社会への関わり方を選択・判断する」ことが示されている。地域や社会において児童自らが実現可能なできることは何かを学習したことを基にワークシートに「伊奈氏へ向けた未来の葛西用水」を考えさせることで評価を行う。ワークシートの記述をもとに児童が地域社会に対する愛情を育んだことを評価することができると考える。

3 実践の内容

(1) 単元の目標と評価規準

葛西用水の開発に尽くした伊奈氏の業績について、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして年表などにまとめ、開発工事の様子を捉え、当時の生活の向上や地域の発展と関連づけて考えることを通して、伊奈氏は様々な苦労や工夫により当時の生活向上や地域発展に貢献したことを理解できるようにする。また、学習したことを基に、先人の働きと現在の地域の人々の生活を関連付け、地域に誇りや愛情をもち、地域社会の発展について考えようとする態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①伊奈氏らが苦労や工夫を重ねて葛西用水の開発を進めその完成により当時の生活が向上し、周辺地域が発展したことを理解している。</p> <p>②開発工事の苦労や工夫について、見学・調査したり地図や年表などの資料を活用して必要な情報を読み取ったり、分かったことを年表などに適切にまとめている。</p>	<p>①湿地帯で稲作に向きな中世の八潮地域の様子から問いを見だし、伊奈氏の業績と地域の人々の願い、開削工事が進む様子、分水路により新田開発が広まっていく様子に関連付けて考え、適切に表現し、根拠を示して話し合ったりしている。</p> <p>②伊奈氏らの業績と、地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて先人の働きや願いを考え、適切に表現している。</p>	<p>①予想を基に学習計画を立て、問題解決の見通しをもち、主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。</p> <p>②伊奈氏らの働きと、葛西用水のその後の様子などを基に、現代の地域の人々の生活を関連付け、これからの地域社会の発展について考えようとしている。</p>

(2) 指導計画と評価計画 (11時間)

○内の数字は時間を表す。
 < >内は評価の方法を表す。

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

知：知識・技能 思：思考・判断・表現
 態：主体的に学習に取り組む態度

	学習活動・学習内容	評価の観点・内容・方法	資料
つかむ	① 学区を流れる葛西用水（東京葛西用水）を見学して、気づいたことを出し合い葛西用水の開発について関心をもつ。 ・直線上の流路を見て、葛西用水は人の手で造られたことに気づく ・葛西用水を見学して気づいたことや思ったことを観察カードにメモする 〈見学する視点〉 看板、流路、水量、周辺整備環境 周辺にある関連施設（排水機場など） 実践のポイント（1）	態① 葛西用水について関心をもち、意欲的に見学しようとしている。 〈発言・行動観察〉 知① 葛西用水の見学を通して気づいたことをメモしている。 〈発言・観察カード〉	・東京葛西用水の様子 （見学、写真、動画） ・中馬場排水機場の様子 （見学、写真、動画） ・見学カード
	② 八潮市の地図に東京葛西用水、八条用水の流れを着色し、気づいたことをもとに調べたいことを話し合う。 ・灌漑水路の意味 ・葛西用水（東京葛西用水）の流路 ・八条用水の流路（暗渠部分を含める） ・現在の流路の沿線の様子 ・追究したいことの話し合い	態① 八潮市を流れる葛西用水、八条用水について関心をもち、興味をもったことに対して意欲的に話し合いをしている。 〈発言・行動観察〉	・地理院地図（航空写真、ベース地図） ・ワークシート ・映像（水路の働き）
	③ 葛西用水ができる前の人々の願いを考え、なぜ葛西用水がつくられるようになったのか疑問をもち、学習問題をつくり、解決の見通しをもつ。 ・中世の八潮地方の灌漑の様子（諸河川の氾濫水や満潮の増水を池沼に注いで利用していたため、水供給の不安定さと新田開発に適さない土地環境であったこと） ・銅像写真から人物像を想像し、用水開発工事の中心となって取り組んだ伊奈氏の略歴を知る ・葛西用水の開発について追究する学習問題を作る ・学習問題に対する予想を出し合う ・予想を確かめる学習計画を立てる 実践のポイント（2） 学習問題 伊奈氏はどのようにして葛西用水をつくり、それにより地域の人々の生活はどのように変わったのだろう。	思① 葛西用水には様々な人の工夫があることを考え、葛西用水をつくった伊奈氏の働きを調べる学習問題を設定している。 〈発言・ノート〉 態① 葛西用水をつくった伊奈氏の働きを調べる学習問題について、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。 〈発言・ノート〉	・地理院地図（治水地形分類図、航空写真） ・タブレットコンピュータ ・ワークシート ・伊奈忠次の銅像写真  羽生領島中領用排水路土地改良区にある銅像
調べる	④ 葛西用水における水利施設の先人の工夫について話し合う。 ・取水口（元塚） ・貯水池（溜井） ・用水と川の平面交差（綾瀬川と八条用水分水の掛渡井） ・用水と川の立体交差（東京葛西用水と八条用水分水の伏越） ・掛渡井や伏越を設置する必要があった歴史的要因と地理的要因（綾瀬川を越えて水を送るため）	知② 用水の水利施設の工夫は、水を目的地まで確実に供給するための設備であることを理解している。 〈発言・ノート〉	・粘土模型（元入り、溜井、掛渡井、伏越） ・伊奈忠次の銅像写真 ・水利施設の絵図と写真
	⑤ 荒川西遷、利根川東遷、綾瀬川改修について葛西用水の開発の年表と関連付けて調べる。 ・荒川西遷により瓦曾根溜井、亀有溜井が枯渇し、水量の安定していた利根川に水を求めて葛西用水が造られた ・利根川東遷や綾瀬川改修により、水害対策と旧河道の水田化が図られた	知② 主要河川の改修による地形や条件の変化に伴い葛西用水は様々な工夫の中で造られてきたことを理解している。 〈発言・ノート〉	・河川改修の前後図（荒川、利根川、綾瀬川） ・地理院地図（航空写真、ベース地図） ・ワークシート ・開発年表

調べる	<p>⑥⑦ 葛西用水の開発工事の様子を調べ、可能な限り当時の道具を使用しながら用水開発工事を疑似体験し、人々の願いや気持ちを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の開発工事の様子 ・当時の開発工事で使用した道具 ・溜井の役割 ・高低差の確認（意図的に流路を決めたことを水の落差より理解する） ・手作業による作業の大変さ（当時の最新の技術力と最新の工法であったことを押さえておく） ・効率よく作業するための工夫 <p style="text-align: center;">実践のポイント（１）</p>	<p>態① 葛西用水の開発工事の疑似体験に意欲的に取り組もうとしている。 〈発言・行動観察〉</p> <p>知① 伊奈氏が、地域の人々の願いを実現するために、地域全体のことを考えて、苦労や工夫を重ねて葛西用水を開発したことを理解している。 〈発言・ノート〉</p>	<p>【写真資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じょれん ・もっこ ・くわ <p>【実物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スコップ ・巻尺
	<p>⑧ 葛西用水が完成して、地域の人々の生活がどのように変わってきたのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葛西用水、八条用水の分水路 ・分水路がもたらす生活環境の変化 ・石高増強の表の読み取り 	<p>知② 葛西用水の開発によって、水田が広がり、米の生産量が増え、人々の生活が豊かになったことを理解している。 〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・八潮地域の石高比較表（1603年・1612年） ・開発年表
	<p>⑨ 葛西用水は現在でも農業用水としての機能を持ち、地域灌漑に役立っており、整備され続けていることを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の葛西用水の流路を上流～下流まで地理院地図で新旧比較を行い、詳しく調べたい地点を Google ストリートビューでたどる。 ・葛西用水の一部は現在、暗渠化され、主に排水路としての使われ方である八潮市と比較し、葛西用水上流部では未だに現役用水路として使用されていること ・昭和の航空写真より、昭和までは八潮市内でも灌漑用水路として葛西用水が使われていたこと ・葛西用水が現在も人々の生活を豊かにする役割を担っていること <p style="text-align: center;">実践のポイント（２）</p>	<p>態① 現在の葛西用水の使われ方に関心を持ち、意欲的に調べようとしている。 〈発言・行動観察〉</p> <p>知① 伊奈氏がつくった葛西用水が現在でも地域の灌漑に役立っていることを理解している。 〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Google ストリートビュー ・地理院地図（航空写真、年代別比較写真、ベース地図） ・タブレットコンピュータ
まとめる	<p>⑩ 葛西用水の開発や伊奈氏の苦労や工夫についてまとめ、学習問題の結論を出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葛西用水の価値を考える ・伊奈氏を中心とした人々の働きの意味について考える ・学習問題の結論を出す 	<p>思② 葛西用水を開発した伊奈氏を中心とした先人たちの働きや苦労や工夫によって、人々の願いが実現し、地域が発展したことを考え、まとめている。 〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の資料等（銅像写真、年表、地図等）
<p>学習問題の結論</p> <p>伊奈氏を中心に人々が苦労や工夫を重ねて葛西用水を開発したことで、農業用水が確保され、生活はより豊かになり、東部低地も大きく発展した。現在も農業用水を確保し、健康な生活を守るために人々の協力や工夫が続けられている。</p>			
生かす	<p>⑪ 葛西用水の未来について考えたことを話し合い、伊奈氏に向けて開発当時と比べてどのように変化したのかをレポートにまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の葛西用水は排水路としての役割も担い、土地の低い八潮市の内水反乱を防ぐ水害対策面でも活用されている ・伊奈氏の功績や業績をはじめ、多くの先人たちの働きがあって当時の生活が向上し、現在に至るまで地域の発展を支えている 	<p>態② 葛西用水流域に誇りや愛情をもって地域の発展を考えようとしている。 〈発言・ワークシート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・既習の資料等（銅像写真、年表、地図等）

4 実践結果と考察

(1) 事前学習を含めた見学調査・体験的な活動を取り入れ主体的な学習

学区を流れる葛西用水の見学	手作業での用水開発擬似体験
 <p>学校側を流れる葛西用水路の見学 日常の風景と化している葛西用水を学習するにあたり、人工物であることを知り、改めて興味関心を高めることができた。</p>	 <p>グループごとに分担を決め、用水開発工事の擬似体験 葛西用水開発工事の擬似体験を取り入れたことで、手作業による大変さを体感し、先人の苦労や工夫に思いを馳せることができた。</p>

資料の読み取りの工夫

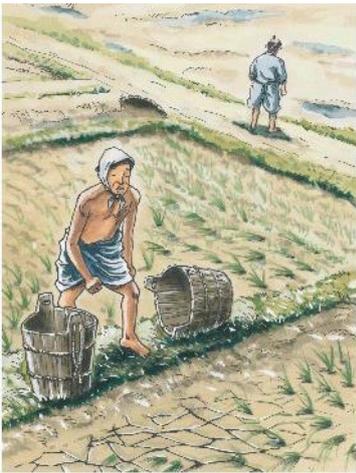
 <p>葛西用水の水が送られる地域</p> <p>「みなおそう埼玉の水」より葛西用水の流路を知る</p> <p>段階を追って資料提示をすることで、それぞれの資料の見方を身に付けることができた。土地の高低や土地利用についての見方は、発達段階に応じて補説を行った。</p>	<h4>葛西用水開発年表</h4> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>出来事</th> <th>出来事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1958年</td> <td>4月7日</td> <td>大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了</td> </tr> <tr> <td>1964年</td> <td>4月1日</td> <td>大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了</td> </tr> <tr> <td>1969年</td> <td>3月31日</td> <td>大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了</td> </tr> <tr> <td>1977年</td> <td>3月31日</td> <td>大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了</td> </tr> <tr> <td>1984年</td> <td>3月31日</td> <td>大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了</td> </tr> <tr> <td>1990年</td> <td>3月31日</td> <td>大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了</td> </tr> <tr> <td>1994年</td> <td>3月31日</td> <td>大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了</td> </tr> <tr> <td>1999年</td> <td>3月31日</td> <td>大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了</td> </tr> </tbody> </table> <p>葛西用水の開発年表</p>	年	出来事	出来事	1958年	4月7日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了	1964年	4月1日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了	1969年	3月31日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了	1977年	3月31日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了	1984年	3月31日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了	1990年	3月31日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了	1994年	3月31日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了	1999年	3月31日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了	 <h4>伊奈忠次の銅像</h4> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>主なできごと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1550</td> <td>伊奈忠次が生まれる</td> </tr> <tr> <td>1590</td> <td>徳川家康のもとで、関東代官になる</td> </tr> <tr> <td>1593</td> <td>葛西用水まつりはじめる</td> </tr> <tr> <td>1608</td> <td>次男の忠治（たけはる）が葛西用水の工事を引き継ぐ</td> </tr> <tr> <td>1610</td> <td>亡くなる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>羽生領島中領用排水路土地改良区にある銅像</p>  <p>Google ストリートビューで仮想社会科見学</p>	年	主なできごと	1550	伊奈忠次が生まれる	1590	徳川家康のもとで、関東代官になる	1593	葛西用水まつりはじめる	1608	次男の忠治（たけはる）が葛西用水の工事を引き継ぐ	1610	亡くなる。
年	出来事	出来事																																							
1958年	4月7日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了																																							
1964年	4月1日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了																																							
1969年	3月31日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了																																							
1977年	3月31日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了																																							
1984年	3月31日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了																																							
1990年	3月31日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了																																							
1994年	3月31日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了																																							
1999年	3月31日	大原小沿いの葛西用水路の改修工事完了																																							
年	主なできごと																																								
1550	伊奈忠次が生まれる																																								
1590	徳川家康のもとで、関東代官になる																																								
1593	葛西用水まつりはじめる																																								
1608	次男の忠治（たけはる）が葛西用水の工事を引き継ぐ																																								
1610	亡くなる。																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な見方</th> <th>事例の一部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①地点を詳しく見る(点)</td> <td>大原小沿いの葛西用水</td> </tr> <tr> <td>②地点と地点をつなげる(線)</td> <td>瓦曾根溜井〜八潮</td> </tr> <tr> <td>③広い範囲で見る(面)</td> <td>利根大堰〜坊川</td> </tr> <tr> <td>④歴史的变化を見る(変化)</td> <td>年表、年代別地図</td> </tr> </tbody> </table>			主な見方	事例の一部	①地点を詳しく見る(点)	大原小沿いの葛西用水	②地点と地点をつなげる(線)	瓦曾根溜井〜八潮	③広い範囲で見る(面)	利根大堰〜坊川	④歴史的变化を見る(変化)	年表、年代別地図																													
主な見方	事例の一部																																								
①地点を詳しく見る(点)	大原小沿いの葛西用水																																								
②地点と地点をつなげる(線)	瓦曾根溜井〜八潮																																								
③広い範囲で見る(面)	利根大堰〜坊川																																								
④歴史的变化を見る(変化)	年表、年代別地図																																								

(2) ICT を活用した授業構成により対話を促し深い学びへとつなげる

地域の地形的要因の把握	葛西用水路の新旧比較
 <p>八潮地域の治水地形分類図 地理院地図より 中川低地の様子や八潮に住んでいた人々の当時の願いを考え、中川低地の地形の特徴をもとに、なぜ葛西用水がつけられるようになったのか疑問をもち話し合った。</p>	 <p>左 (1945年大原小上空)、右 (2007年大原小上空) 地理院地図より 伊奈氏たちの働きが、葛西用水周辺の発展につながったことや現在でも使われていることを、調べたことをもとに的確に捉えることができるようにする。</p>

(3) 主体的に学習に取り組む態度の評価について

①主体的に問題解決しようとする態度の評価



「当時の八潮の予想図」佐藤由美子教諭作

児童のノート記述

〈気になったこと〉

- ・昔はぬま池だったのに、どうして今はきれいになったのかな。
- ・水不足でこまっていた人々は、その後どうなったのかな。
- ・伊奈氏はどんなことをしたのかな。
- ・八潮の生活は良くなったのかな。
- ・今でもか西用水を使っているのかな。

学習問題をつくる過程で、資料をもとに当時の暮らしの大変さに思いを馳せ、伊奈氏を中心とした人々が生活改善に向けて用水を開発したことに興味をもち、工事の過程やその後の様子を意欲的に調べようとしているかをノート記述から読み取る。

②よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度の評価

学習活動の様子

伊奈氏へ報告をしよう

4年_延く

100年後の八潮の葛西用水の未来を想像し発表しよう。



発表の様子

今よりもまわりがきれいになって、大切にされていると思います。水遊びができるようなしせつもできて、みんな喜んでいてと思います。

学習活動の様子

300年以上のれきしがあるし、八潮では農業に使っていないけど、はい水路として役立っているのだから、これからも大切にされたいと思いました。

葛西用水が活用しはる川用水も、どのよう活用したいか、話し合っていました。

昔はぬまだったり、日であって川があふれたりする八潮に用水をつくってくれてありがとうございます。伊奈さんのおかげで昔の八潮の人々はお米をたくさん食べられるようになり、今のぼくたちがいます。今でもか西用水は農業で使われている地いきもあります。八潮でははい水路として使われているけど、水害から守ってくれています。100年後も伊奈さんの苦勞や努力をわすれないようにか西用水のまわりをきれいにしたり知らない人に教えてあげたいです。

今回の学習を通してさらに葛西用水への愛着が深まった。また、自分たちの生活を守るために現在も整備をされていることや、水害対策の工夫がなされていることに気づき、伊奈氏だけでなく現在の葛西用水を支えている人々に対しても感謝の想いをもつことができた。

5 研究の成果と今後の課題

〈成果〉

- ・学区を流れる葛西用水を教材化することで主体的に学習問題の解決を図ろうとする児童を育成することができた。(地域教材の活用)
- ・評価の基準を明確化することで、ねらいに沿った均一的な授業を学年で展開することができた。
- ・ICTを取り入れることによって視覚に訴えることができ、地域の様子をイメージとして捉えやすくなったので「楽しい」という面が多く見られ、対話的な学習により相互啓発が図られた。回数を重ね、写真や地図の比較を通して新旧を比較する目が育成された。

〈課題〉

- ・「社会への関わり方を選択・判断する」ことに関して、児童自身が現時点での葛西用水に対して取り組める行動には限界があり、評価についてより改善を図っていきたい。
- ・葛西用水の原典資料から教材化を試みた際、年代の表記や史実に差異が見られるため、さらに資料を精選して活用し、実践化を図っていきたい。